

成果の説明書

(氏名) 塩澤康平	(学部) 経済学部
1 重要事項	
<p>・個人の社会的選好を調査するための実験手法について、共同研究を実施した。具体的には、社会的選好を調査するための実験を設計して実施した。また、その分析手法に関して、従来手法の問題点を指摘する研究の成果を取りまとめるための文献調査と論文作成の作業を行った。</p> <p>・個人の時間選好を調査するための実験手法について、共同研究を実施した。シミュレーション分析により、従来手法の問題点を明らかにし、その理論的な説明を与えた。この成果を取りまとめるための文献調査と論文作成の作業を行った。</p> <p>・効用最大化モデルの顕示選好理論を用いたデータ分析手法の研究について、昨年度までのものを含めて、成果を取りまとめるための文献調査と論文作成の作業を行った。</p>	
2 その他の事項	
<p>・担当する科目の授業に関して、対面授業とオンデマンド型配信を併用する形式で実施するために講義内容を改訂し、スライド資料の作成を行った。また、対面授業を同時に録画・録音するためのシステムについて検討を行ない、録画・録音データを編集することでオンデマンド配信用の授業動画を作成した。</p> <p>・高等学校に対する出前授業として、ミクロ経済学に関する入門講義をオンラインで実施した（群馬県沼田市、2021年11月）。</p>	
3 次年度以降の計画・抱負	
<p>昨年度までの研究成果を含めて、成果の取りまとめを行う。特に、論文原稿を国際査読誌に投稿するための作業を行う。また、引き続き選好を調査するための経済実験に関する研究を推進する。特に、様々な環境における選好分析の手法を確立し、同種の環境における他の指標や他の環境における選好との関連といった、外的妥当性に関する知見を蓄積する。その他のテーマに関する研究についても引き続き継続する。</p>	